

(2) 学生研修

1) 1年次学生の合宿研修

工学部では新入生に対して教官と学生及び学生間の懇親を図るため毎年合宿研修または日帰りの研修を行っている。平成 25 年度の各学科の研修は次のとおりである。

1 物質生命化学科

本学科では、合宿研修におけるスポーツ大会を通じて新入生と教職員及び、学生会(青藍会)と新入生の親睦を図っている。また、学科研修会として各研究室および技術部の教職員自己紹介と研究内容の紹介を行っている。平成 25 年度の物質生命化学科 1 年次の学生研修の概要は次の通りである。

日時： 2013 年 6 月 1 日(土)

場所： 熊本大学黒髪南地区 工学部百周年記念館(研修会)、FORICO(歓迎立食パーティー)

参加学生数： 1年生 78 名、3 年次編入生 3 名、青藍会学生 12 名

参加教職員数： 21 名(研修会)

日程及び内容等：

6 月 1 日

8:50	集合
9:00	開式(学生支援委員)
9:00-9:05	学科長挨拶、1 年担任挨拶
9:05-9:20	ISO14001 紹介
9:20-12:00	学科研修会 ～ 研究・教育活動の紹介
12:00-12:30	研究室見学
12:30-14:00	副学科長挨拶 新入生歓迎立食パーティー
14:30-	貸切バスで移動
16:30-18:30	物生 大ボウリング大会

2 マテリアル工学科

本学科では、1年生の導入科目である「マテリアル工学入門セミナー」の一環として、研修旅行を実施している。この研修を通じて、マテリアル工学科における学習目的に対する理解を深め、クラス内の親睦を図ることを目的とします。平成25年度の研修の概要は次の通りである。

日時:2013年5月27日(月)~28日(火)

場所:熊本県立あしきた青少年の家(熊本県葦北郡芦北町鶴木山)

参加学生数:1年生50名

参加教員数:教職員数3名

日程および内容等:

5/27	12:30	熊大集合、出発
	13:00	研修1 (車中)(グループワーク:模型製作に関する計画検討)
	15:00	入所式、ガイダンス
	15:30	研修2 (自動車と材料に関する講義と演習)
	17:30	夕食・入浴
	19:00	研修3 (グループワーク:ストローを使用した模型製作)
	22:00	就寝
5/28	6:30	起床
	7:00	朝のつどい
	7:30	朝食、部屋掃除、荷物整理
	9:30	研修4 (マリン活動:ペーロン漕艇)
	12:00	昼食
	13:30	退所式
	13:45	研修5 (大学生活に関する研修:カルトについて, DVD 講義)
	16:00	熊大着、解散

3 機械システム工学科

本学科では、新入生の導入授業である機械システム入門セミナーの一環として、機械システムの専門科目を学ぶことの動機付けと社会に踏み出す際に必要な心構えについての教育を行うことを目的とした日帰りの研修旅行を実施している。

平成 25 年度の機械システム工学科 1 年次の研修旅行の概要は次の通りである。

実施日：平成 25 年 5 月 7 日(火)

参加者：学生 101 名，教員 4 名

スケジュール：

5 月 7 日(火)

08:00 工学部研究棟 横 出発

09:00-11:30 井関熊本製造所 見学(1 組と 2 組は 30 分時間をずらして見学)，斎藤邦仁社長と当学科 0B の遠藤聡雄技術部長等による工場の概要説明

11:30-12:30 バス移動

12:30-13:15 1 組と 2 組は鳥栖サービスエリアと古賀サービスエリアに分散して昼食

13:15-13:30 古賀サービスエリアで 1 組と 2 組が合流後にバス移動

13:30-15:30 トヨタ自動車九州 見学，当学科 0B の杉山新治専務などとの見学後の懇談

15:30-17:30 バス移動

17:30 熊本大学着

4 社会環境工学科

2013 年度新入学生のための合宿研修は、「7.12 白川流域 河川・土砂災害を学ぶ」をテーマに、5 月 27 日(月)～28 日(火)に実施した。本年度は、前年の 2012.7.12 に発生した白川豪雨災害をはじめ、白川水源(湧水,熊本地下水)、子飼橋改修等、社会環境工学分野について、現場(社会)を見聞きし、社会環境工学(土木)の社会的役割の理解を深めることを目的とした。訪問先は以下のとおりである。

加藤清正鼻ぐり井手;白川の特性と加藤清正の工夫を学ぶ

立野ダム現場;治水対策を学ぶ

黒川遊水池;治水対策を学ぶ

土砂災害現場;土砂災害、対策を学ぶ

阿蘇神社・一宮のまちづくり;地域資源を生かしたまちづくりの方法を学ぶ

白川水源;熊本の地下水を育む仕組み(地形)を学ぶ

子飼橋;橋梁設計のコンセプトを学ぶ

白川わくわくランド;白川の特性や災害の概要を学ぶ

実際の災害現場を見て、現場で実際に携わっている技術者と対話することで、社会環境工学(土木)をより現実のものとして捉え、理解を深めることができる大変貴重な機会となった。また、現地で積極的に質問する学生が多くみられ、今後の研究、将来の進路への手掛かりを提供することができたものと考えられる。

参加者:学生 72 名 教員:17 名

月/日(曜)	スケジュール
5/27(月)	<p>乗車場所:熊本大学百周年記念館前 集合時間:8 時 50 分</p> <p>熊本大学 = = 加藤清正鼻ぐり井手 = = 立野ダム = = 阿蘇ファームランド(昼食)</p> <p>9:00 9:30 ~ 10:20 11:00 ~ 12:00 12:30 ~ 13:30</p> <p>= = 黒川遊水池、土砂災害現場 = = 阿蘇青少年交流の家</p> <p>14:00 ~ 16:00 16:30</p>
5/28(火)	<p>阿蘇青少年交流の家 = = 阿蘇神社・一の宮町まちなみ = = 南阿蘇・白川水源 = =</p> <p>9:00 9:15 ~ 10:30 11:00 ~ 12:00</p> <p>あそ望みの郷(昼食) = = 熊本河川国道事務所白川出張所(子飼橋架け替え)</p> <p>地域防災センター白川わくわくランド</p> <p>12:30 ~ 13:45 15:00 ~ 16:30 頃</p> <p>= = 熊本大学着</p> <p>17:00</p>

5 建築学科

本学科では、建築を学び始めた 1 年生を対象に、建築学科教員の設計による建築を含む優れた建築物を実際に見学・体験するとともに、特別講演を含む合宿研修や登山を通じて新入生と教職員の親睦をはかり、4 年間の勉学意欲を高めるために企画する重要な行事となっている。

日時：平成 25 年 6 月 3 日（月）～6 月 4 日（火）

場所：九州地区国立大学九重共同研修所

大分県玖珠郡九重町湯坪字八丁原 600-1 TEL(0973)79-2617

参加学生数：60 名

参加教員数：9 名（特別講演会講師 1 名を含む）

日程及び内容等：

6 月 3 日

08:30 集合 熊本大学工学部百周年記念館前

09:00 熊本大学出発

10:30 小国町到着 建築物見学 小国ドーム、ゆうステーション、木魂館

12:00 昼食 木魂館

13:00 小国町出発

13:50 研修所到着

14:00 特別講演「建築設計の面白さ」
講師：内記英文氏

17:30 夕食（大食堂）

18:30 入浴（男女浴室）

19:30 懇親会（大広間）

22:00 消灯

6 月 4 日

07:30 起床

08:00 朝食（大食堂）

08:30 清掃、記念撮影

09:10 研修所 出発

09:30 九重山登山

13:30 下山終了

14:00 牧ノ戸出発

16:30 熊本大学到着 解散

6 情報電気電子工学科

情報電気電子工学科一年次の合宿研修は、一年次学生 157 名を2班に分けて、下記の通り5月20日(月)~21日(火)の一泊二日の日程で行った。

(1)A組

日時：平成25年5月20日(月)~5月21日(火)

場所：九州地区国立大学島原共同研修センター

参加学生数：1年生A組79名

参加大学院生数：8名

参加教職員数：6名

日程および内容等：

5月20日(月)

08:00 熊本大学 集合、点呼
08:15 熊本大学 出発、バス移動
09:55 熊本港発(九商フェリー)
10:55 島原港着、バス移動
11:30 雲仙 青雲荘(昼食)
13:20 研修センター着、オリエンテーション
13:35 研修1(大研修室)
15:00 自由時間(体育館でスポーツ)
17:30 夕食、入浴、自由時間
19:00 研修2(大研修室)
20:30 親睦会
22:00 消灯

5月21日(火)

07:00 起床
07:30 朝食
08:30 講話(大研修室, 池上先生)
09:00 研修3(大研修室)
10:55 研修センター出発
11:40 多比良港発(有明フェリー)
12:25 長洲港着,バス移動
12:40 (昼食)
13:50 バス移動
14:00 (株)リクシル有明工場着見学
15:00 (株)リクシル有明工場出発
16:40 熊大 到着、解散

(2)B組

日時：平成25年5月20日(月)~5月21日(火)

場所：九州地区国立大学九重共同研修所

参加学生数：1年生A組78名

参加大学院生数：8名

参加教職員数：7名

日程および内容等：

5月20日(月)

09:00 熊本大学 集合
09:30 熊本大学 出発、バス移動
11:00 阿蘇山頂ドライブイン着, 昼食
12:00 同ドライブイン発, バス移動
13:15 研修所着、オリエンテーション
13:30 研修1(大研修室)
15:00 自由時間(体育館でスポーツ)
17:30 夕食、入浴、自由時間
19:00 研修2(大研修室)
20:30 親睦会講話(有次先生)
22:00 消灯

5月21日(火)

07:00 起床
07:30 朝食
08:20 研修3(大研修室)
10:00 九重共同研修所 出発
10:15 八丁原地熱発電所 見学
11:45 八丁原地熱発電所 出発
12:15 やまなみ牧場(昼食)
13:15 やまなみ牧場発, バス移動
14:15 阿蘇大観峰 到着
15:15 阿蘇大観峰 出発
16:45 熊本大学 到着

7 数理工学科

本学科の新生を対象にした研修旅行は、学生 24 名（内新 1 年生 10 名、3 年次編入生 1 名）、教員 3 名の計 27 名の参加のもとに行われた。

日程：平成 25 年 6 月 1 日（土）

主な見学先：サントリービール工場、南阿蘇ビジターセンター

南阿蘇の自然探訪を通して自然環境保護意識の向上を図ることを目的として、サントリー工場見学と南阿蘇周遊を行った。当日はあいにくの雨天であったが南阿蘇の自然を満喫することができ、南阿蘇ビジターセンターでは絶滅危惧 IA 類の阿蘇固有種ハナシノブの開花をただ一株だけであったが観察することができた。新生以外は自由参加としているが、今年も 2 年以上の上級生が多数参加し、新生との親睦を図ることができた。